たとえば… こんなケースがありました

「家族は誰も私のこと信じてくれない」――匿名の女性からの電話相談に、CSWが胸の内を伺いました。

女性は若い頃から精神的にしんどくなることが多く、その辛さを一番近い存在であるはずの娘と夫に理解してもらえないことで、ずっと孤独を感じていました。また、娘と夫から「言葉の暴力」を受けており、民生委員にもたびたび話を聞いてもらっていました。

そんな折、夫が病に倒れて介護生活が始まり、女性は心身共にクタクタになってしまったようでした。

その後も何度か電話相談を受けましたが、匿名のため具体的な支援ができず、言葉の暴力については更なる相談窓口を案内することしかできませんでした。

しかし相談を重ねるうちにCSWと信頼関係を築くことができ、年齢、名前、住所等を教えていただけるようになりました。役場やケアマネ、民生委員とも連携して支援をすすめ、時機を見て当事者グループの会合にお誘いしました。すると「皆しんどい思いを抱えながら生きていることがわかり、自分は孤独ではないと感じられるようになりました。」と喜ばれました。

現在は時折、CSWに元気な顔を見せに来られ、さまざまなイベントに参加するなど活発に過ごしています。

「近所にひきこもりかもしれない人がいる」との相談がありました。

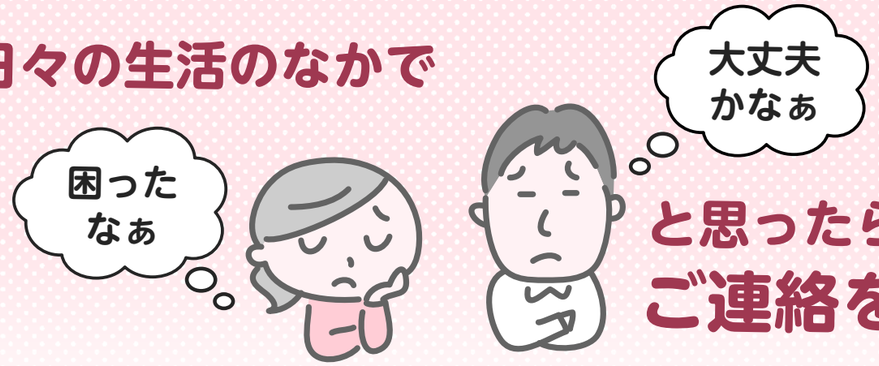
その家の住人は近所付き合いがなく、中年の男性が仕事に出る様子もなく一人で暮らしているようでした。

CSWが何度も自宅を訪問し、二か月後にようやく男性に会うことができました。家の中は物が散乱しており、男性はとても疲れた様子でした。

面談を重ねると、家の中をどうすれば片付くのかわからない、生活費が底を突いてきた、将来が不安である等、男性が抱えている「困っていること」を聞くことができました。男性の気持ちに寄り添いながら、自治会や近隣住民の協力を得て家の中を片付け、役場や医療機関、民生委員と連携しながら男性を支え、自立に向けて支援を行いました。

現在は、支援に携わった関係者や近隣住民とは何でも話せる仲になり、就労訓練を受けながら将来の安定を目指しています。

日々の生活のなかで



と思ったらご連絡を！

コミュニティソーシャルワーカー

CSW

コミュニティソー シャルワーカーは、地域に出向いて困りごとについて一緒に考えます

CSWとは

コミュニティソーシャルワーカーは「地域相談支援員」です。個人の悩みや地域の困りごとの相談に応じます。福祉サービスの紹介や適切な相談窓口につないだり、地区福祉委員会をはじめとする地域内の諸団体、ボランティア団体などと連携して解決にあたります。

近所に心配な人がいるんですが…

- 最近見かけないけど、どうしたのかな。
- 話が通じないことが増えてきたんです。
- 異臭がするんですが、大丈夫？

介護のことがわからなくて…どうしたらいいの？

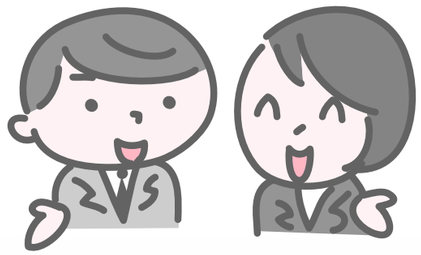
- ひとり暮らしの祖父母が心配です。
- いま入院中ですが、退院後の生活が心配です。

育児のことで悩んでいるんですが…

- 引っ越ししてきたばかりで、相談する人がいなくて困っています。
- 最近よく子どもの泣き声が聞こえるんですが、大丈夫？

コミュニティソーシャルワーカー

CSWに



ご相談ください

ひとりで悩まないで

ご近所やボランティアなどの協力を得ながら解決に努めます。

相談窓口や福祉サービスを紹介し、利用に向けて支援します。

地区福祉委員会や小地域ネットワーク活動などを紹介し、地域で孤立しないように支援します。